

## 1. 模擬試験について

- ・模試の段階で結果が出ている人は限られている
- ・模擬試験全日程終了後、5点以上の得点アップは十二分に可能！

### 現状

#### 教養試験科目について

- ・数的処理・文章理解で5割が確保できている
- ・一般知識（人文・自然・社会・時事）は取れていなくてもまだ大丈夫

#### 専門試験科目について

- ・憲法，民法Ⅰ，民法Ⅱ，行政法，ミクロ，マクロで6割が確保できている
- ・学系科目（行政学，経営学，財政学 etc）は取れていなくてもまだ大丈夫

### 今後

#### 教養試験科目について

- ・文章理解：残り期間を考えると点数を伸ばすのは難しい
- ・数的処理：必ず正解に至ることができる問題を5問見つける（手が出ない分野は捨てる勇気も必要）  
→例：16問全部解くのではなく，12～13問に全力投球する
- ・人文科学，自然科学：分野を絞る＞科目を絞る
- ・時事：講義で触れた内容に限定し，1日30分の隙間時間を活用する
- ・人文2～3点，自然1～2点，社会科学2点，時事2点，知識合計で8点を目指す
- ・正解こそしなかったが，2択まで絞れた問題を見逃さない！
- ・暗記科目は講義ノート中心で，理解できないものは音声で  
→どうしても覚えられないという人はストーリーを軽視しがち

#### 専門試験科目について

- ・主要科目に関してはV問題集の徹底活用を（反復回数トータル5周を目標に）
- ・民法：Vテキストの精読
- ・学系科目：「講義ノート→V問題集→講義ノート」のサイクルで知識を集約する  
→暗記リスト（覚えられないものリスト）を作成するのもあり

## 2. SPI対策について

『最新！SPI3 完全版 2024 年度版』高橋書店 1,485 円（税込）

『これが本当の SPI3 だ！ 2023 年度版』講談社 1,650 円（税込）

『最新最強の SPI クリア問題集 '23 年版』成美堂出版 1,320 円（税込）

## **自己PR**

### **①結論を最初に持ってくる**

「私の長所は～です」「私は～な人間です」「私は～しています」などのように結論を最初に書き、それにかかわる事柄を後から述べる

### **②行動の背景を明らかにする**

エピソードや事象を羅列するだけでなく、いつの出来事か、誰がいたのか、なぜそのような行動に至ったのかを書く

### **③結論を裏づける経験や成果で説得力を持たせる**

具体的な経験や成果を盛り込むことで、結論の説得力を高めることができる

### **④自分の弱点にも触れる**

自分の強みをアピールしたあと、自分の「弱点」や「その弱点を克服する意識」について触れることで、謙虚さや、向上心、問題意識を持っていることが伝わります。

①私の長所は・・・です。②大学1回生の頃から3回生にかけて〇〇に所属し、・・・を目指して活動していました。〇〇が・・・になることを目標にし、私自身は・・・の役割を担っておりました。④途中で組織内の規律が乱れ、メンバー間に意識のずれが生じ、目標達成に暗雲が垂れ込めた時期もありましたが、メンバーとともに・・・をし、組織の方向性を軌道修正させることができ、③・・・を成し遂げることができました。・・・の活動を通じて得た・・・を活かし、〇〇市の市民の方々に対してきめ細やかな対応ができるよう尽力したいと考えております。

エピソードはできれば2つ準備しておく

→各々のエピソード毎に、個人での取り組み、組織での取り組み、失敗・挫折経験という側面から語れるようにしておく

### **心がけるべきポイント**

- ・アピールしたい長所や強みは1つに絞る
- ・行動に関して「動機（なぜ？）」「目標（何のために？）」「心掛け（どのように？）」をしっかりと表現する
- ・成果をアピールする際に数字を活用すると客観性や説得力が加わり効果的

## **学生時代に力を入れて取り組んだこと**

### **①結論を最初に持ってくる**

「私は～に力を入れて取り組みました」「私が力を入れて取り組んだのは～です」などのように結論を最初に書くことで、どこがゴールなのかを読み手に考えさせず、内容に集中してもらうことができる

### **②工夫や努力を盛り込む**

失敗や困難、苦勞に対して、どのような創意工夫や努力をしたかを紹介し、マニュアル人間ではなく、自らの考えを持って問題解決に取り組めることや、困難に屈せず努力を続けられることをアピールする

### **③具体的な成果や実績、エピソードを盛り込む**

具体的な成果や実績、エピソードや周囲から掛けられた言葉などを盛り込むことで、読み手が当時のシーンを想像しやすくなり、説得力のある内容になる

### **④人間的成長をアピールする**

単に取り組んだことの過程や結果の説明をするだけでなく、その経験を通じての人間的成長を盛り込むことで、将来の伸びしろを期待させることができる

①私は〇〇でのアルバイトに力を入れて取り組みました。1年目の頃は勤務先が準備したマニュアル通りに対応していたのですが、・・・が原因でお客様からお叱りを受けることがありました。②そこで私は・・・をしました。はじめのうちは不慣れで上手くいかないこともありましたが、③徐々にお客様からお叱りを受けることが少なくなり、常連のお客様には名前を覚えていただけるまでになりました。④〇〇でのアルバイトを通じて、画一的な接客対応をするだけではお客様に心から楽しんだり喜んだりしていただくことはできないということを学ぶことができました。自分だけの視点だけで物事を判断せず、常に相手の視点にも立った言動ができる職員になりたいと考えております。

### **心がけるべきポイント**

- ・面接で聞いて欲しいこと（掘り下げられても OK なもの）を書く
- ・エピソードの大小で判断されることはない
- ・できれば学生時代（社会人経験がある場合は仕事）のことを書く

### **志望動機**

- ・「興味を持ったきっかけ→やりがい・魅力→適性」の流れで書く
- ・取り組みたい業務にも触れることで、ビジョンや目標を示す
- ・自分中心の表現は NG
  - 「〇〇で成長したい」ではなく「〇〇に貢献したい」

ビジョンを示して締め括る

読み手に好感を抱かせることを目的に、仕事に対する心構えや意欲など職務に臨む姿勢（ビジョン）を示して締め括る

仕事の魅力を明確化する

志望職種にどのような魅力を感じているのかを明確にした上で、自分が志望職種に向いている理由も示す